

第78期

2017.1/1 ▶ 2017.12/31

KURIYAMA REPORT

目次

ごあいさつ	P.1
CEOインタビュー	P.3
セグメントのご紹介	P.5
トピックス	P.11
連結財務諸表	P.13
株式情報	P.14
会社の概要・株主メモ	



クリヤマホールディングス株式会社
KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION

ごあいさつ

株主の皆様へ

顧客のニーズをつかみ、 社会に貢献する企業グループを目指して

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2017年12月31日をもって第78期（2017年1月1日から2017年12月31日まで）が終了しましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、原油価格が上昇基調にある中で、米国経済は企業業況や雇用情勢の改善が続き、個人消費も高水準で推移するなど堅調さを維持しました。また、欧州経済も輸出や個人消費が増加したことなどから、緩やかに回復しました。中国経済は、各種政策効果もあり、堅調な企業業績を背景に設備投資が増加するなど回復基調で推移しました。しかしながら、引き続き、英国のEU離脱問題による影響や、米国の政策動向、中東・東アジアの地政学的リスクなどに不安要素もあり、先行きは依然として不透明な状況となりました。

また、日本経済におきましては、企業収益の改善と世界経済の回復を背景に、市場では円安・株高傾向となり、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの連結売上高は489億42百万円（前期比9.2%増）、営業利益は20億4百万円（前期比0.8%増）、経常利益は23億54百万円（前期比3.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は25億43百万円（前期比62.3%増）となりました。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



クリヤマホールディングス株式会社
代表取締役CEO 能勢 広宣

2018年3月

第78期実績(連結)

売上高

489億42百万円

前期比

9.2%増



営業利益

20億4百万円

前期比

0.8%増



経常利益

23億54百万円

前期比

3.0%増



親会社株主に帰属する 当期純利益

25億43百万円

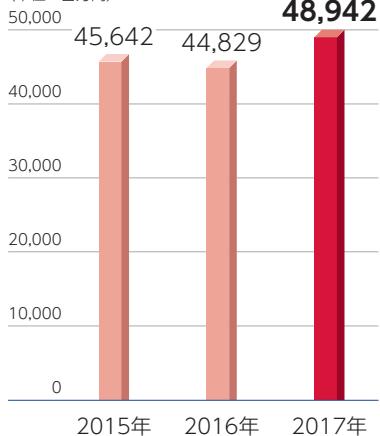
前期比

62.3%増



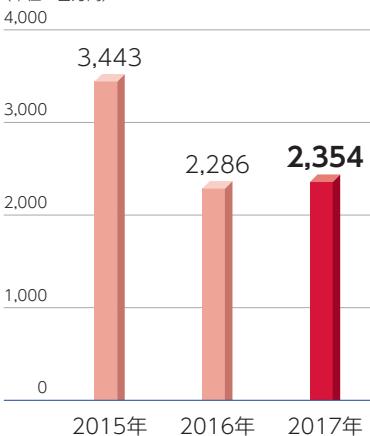
売上高

(単位：百万円)



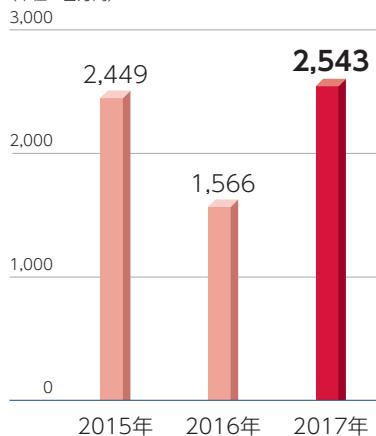
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

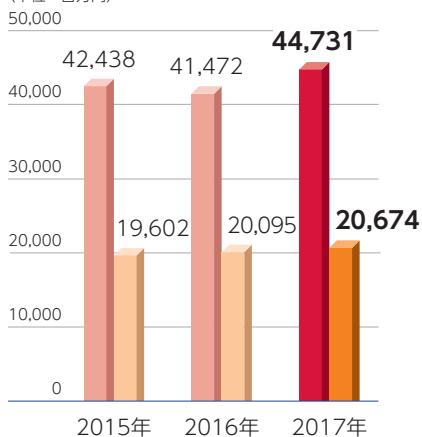
(単位：百万円)



総資産・純資産

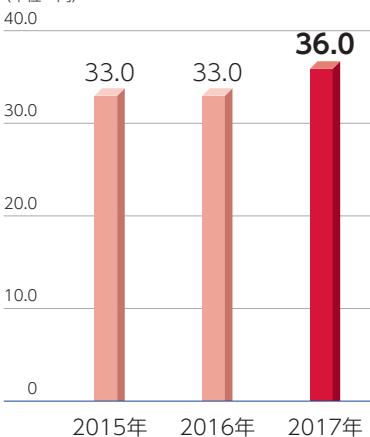
(単位：百万円)

■ 総資産 ■ 純資産



1株当たり配当金

(単位：円)

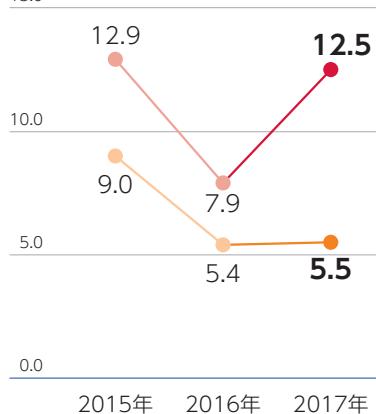


ROE・ROA

(単位：%)

● ROE (自己資本当期純利益率)

● ROA (総資産経常利益率)



Q1 CEOご就任にあたり抱負をお聞かせください。

A1

昨年12月の当社役員会にて、本年1月よりクリヤマホールディングス株式会社のCEOの大役を拝命することになり、先ずはその責任の重さに身の引き締まる思いです。昨年3月に就任いたしましたアジアの中核事業会社であるクリヤマ株式会社の社長も引き続き務めさせていただくこととなりますが、精一杯精進してまいる所存です。弊社は近年、従来の卸売業から「モノづくり」へと徐々に軸足を移

しながら、積極的に国内外の製造拠点の整備や品質管理体制の構築を行うなど、スピードを上げて事業構造の変革に取り組んでまいりました。またお陰をもちまして本年1月からは本社を約50年ぶりに移転し、大阪市中央区城見の松下IMPビル内に新本社を構えることができました。今後もこの改革と成長の流れを止めることなく、企業価値の向上に努めてまいりたいと考えております。

Q2 第78期を振り返っていかがでしたか？

A2

昨年誕生したトランプ政権の保護主義的な政策の影響や、極東地域での緊張の高まりの影響など、不安要素が多かった年でしたが、終わってみれば世界的な景気回復基調と国内の企業収益の改善にも支えられて、第78期は当社グループとして、昨年5月に全株式譲渡により売却したホテル事業の売却益を除いても、堅調な業績を残すことができました。アジアの中核事業会社であるクリヤマ株式会社の産

業資材事業、建設資材事業、スポーツ施設資材事業の各事業が好調であり、また、上海栗山貿易有限公司では中国における建機向け工業用ゴム・樹脂製品が過去最高の実績を上げました。また北米事業におきましても主力の飲料用ホース、シェールプラント向けホースなどの販売が大変好調に推移しました。これらの事業がグループ全体の業績を牽引し、当社としては非常に順調な一年でありました。

Q3 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A3

近年当社グループは新製品の研究・開発や生産設備の増強に注力しております。昨年はアメリカのPHP社で高圧樹脂ホース等を製造する工場建屋の増床を行い、兵庫県内にあるOEMテクニカルセンターでもホースアッセンブリー用の産業用ロボットや3Dプリンターを導入いたしました。また尿素SCRモジュールセンサーのメーカーである株式会社サンエーにも、一昨年の買収後より積極的に様々な設備投資を続けてきましたが、漸く顧客の需要に対応できる量産態勢を整えることができました。昨年

は企業として今後の需要変化に対応できるよう様々な準備に費やした一年でもあったと思います。一方、製造メーカーとしての品質保証や品質管理体制の強化に最大の注力をしてまいりましたが、品質につきましては終わりなき改善を今後とも強力に推進してまいります。株主の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

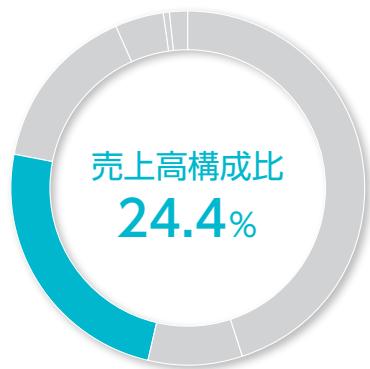
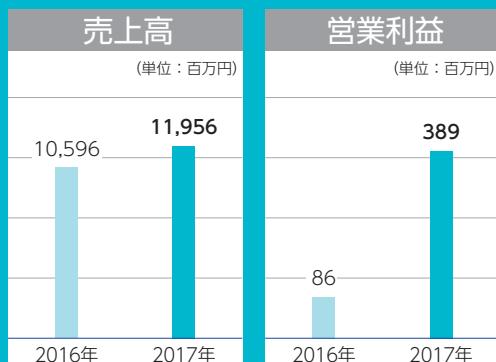
能勢 広宣

2011年3月 当社取締役
2016年3月 クリヤマ株式会社常務取締役営業本部長
2017年3月 クリヤマ株式会社代表取締役社長(現任)
2018年1月 当社代表取締役CEO(現任)



セグメントのご紹介

◆アジア事業 産業資材事業



事業のご紹介

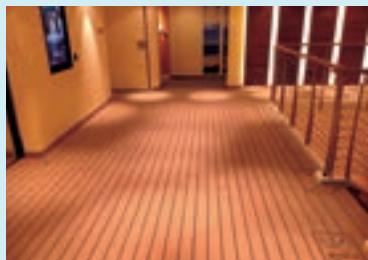
- プラント用資材事業
電力、船舶、化学プラント等向けの部材の販売・施工を行っております。
- 量産機械用資材事業
農業機械、建設機械、自動車等の量産機械に組み込まれる各種部品の製造・加工・販売をしております。
- 中国事業
中国における建設・土木・農業機械用部材、ゴム・樹脂成形品を販売しております。

当期の概況

プラント用資材事業は、大型客船の二番船工事が売上に大きく貢献しました。

量産機械用資材事業では、建設機械や農業機械向け工業用ゴム樹脂製品の販売が回復したほか、尿素SCRセンサー及びモジュール・タンクの販売が順調に拡大しました。

中国事業では、建設機械市場の活況に伴い、工業用ゴム樹脂製品の販売が好調に推移しました。



客船床工事

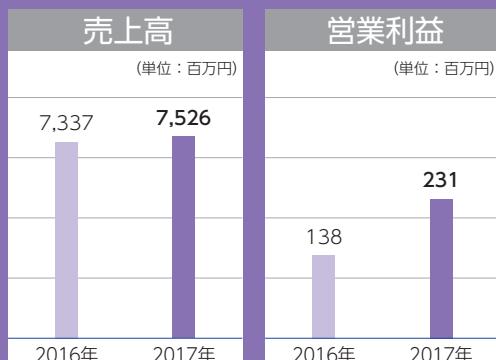


尿素識別センサー



上海栗山貿易有限公司

◆アジア事業 建設資材事業



事業のご紹介

- **建築用資材**
商業施設用にセラミックタイルを中心とした「スーパー・マテリアルズ」ブランドを展開し、お客様のニーズに合わせて最適な床材をご提案、販売しております。
- **鉄道施設用資材**
鉄道施設用の階段や床材などを「エーストン」ブランドとして販売し、専門性の高いお客様のご要求に応えられるように、製品開発を続けております。
- **道路土木用資材**
公共インフラ工事に道路・橋梁・土木関連の各種製品を販売しております。
都市景観用にタイルやブロック製品を「エコ&セーフティーエクステリア」シリーズとしてご提案、販売しております。

当期の概況

当期は、公共インフラ需要や国内景気にも支えられて、建設資材事業は好調に推移しました。商業施設用のタイル「スーパー・マテリアルズ」は、施工スピードと施工品質を大きく向上することが可能な当社独自のストライピング工法と合わせて、お客様の店舗網で連続的にご採用いただくケースが増えております。鉄道施設用では、同じ駅で、ホーム先端タイルの他、階段やコンコースタイルなど当社が展開している商品群で一体的な販売が出来るようになっております。公共インフラ関連では、老朽化対策等の橋梁関連の案件や駅前の再整備等の案件が増加して、周辺製品を含めて好調に推移しました。建設資材事業では、2020年東京五輪を控え引き続き好調な建設需要を確実に捉えることが出来るよう、製品品質の向上と販売に注力してまいります。



歩道橋舗石タイル

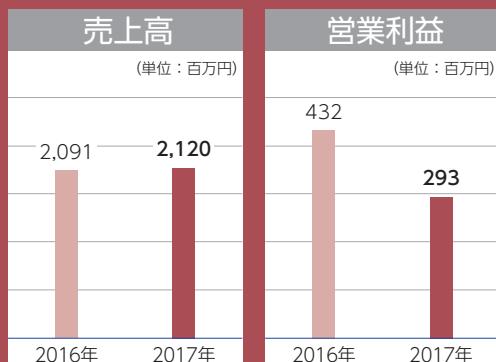


鉄道施設用タイル



商業施設用タイル

◆アジア事業 スポーツ施設資材事業



事業のご紹介

スポーツ施設等で実績が豊富な以下の主要商品の販売・施工を行っております。

- 陸上競技場等用
「スーパー-X」(全天候型舗装材：国際陸上競技連盟認証品)
- 体育館等用
「タラフレックス」(弾性スポーツ床材：国際バレーボール／ハンドボール／テニス／卓球連盟認証品)
- サッカー場等用
「モンドターフ」(人工芝：国際サッカー連盟認証品)
「リモンターフ」(人工芝：国際サッカー連盟・ワールドドラッグビー推奨商品)

当期の概況

体育館用の「タラフレックス」は、高品質でメンテナンス性の高い製品の特徴が顧客から評価され、新設、改修ともに年々需要が高まっています。体育館での各種ボール競技の国際的な認証品としての評価もいただき販売は非常に好調です。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控えて、陸上競技施設の改修や新設の需要も引き続き伸びており、五輪で数々の採用実績のある当社の「スーパー-X」にも注目が集まっております。

サッカー場向けの人工芝は、当社独自の人工芝改修マシン「ターフマンチャー」を使用した改修案件の受注が増えてきています。

スポーツ施設資材事業は、この非常に良い事業機会を確実に捉えることができるよう、販売に一層注力してまいります。



全天候型舗装材「スーパー-X」



弾性スポーツ床材「タラフレックス」



ロングパイル人工芝「モンドターフ」

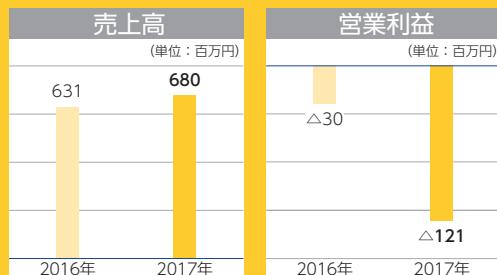
◆アジア事業 ホテル事業

売上高構成比 0.7%



◆アジア事業 その他事業

売上高構成比 1.4%



当期の概況

クリヤマコンサルト(株)では、訪日外国人や国内のビジネス・観光客に向けたビジネスホテル事業（ホテルコンサルト）を運営しておりましたが2017年5月12日に、同社の全株式を当社グループ外の会社に譲渡しました。売上高、営業利益ともにみなし売却日の6月30日までの数値を記載しております。

当期の概況

エアモンテ(株)ではイタリアのスポーツアパレルブランド「MONTURA」を販売しております。当期は、ブランド力強化を図るため、直営店1店舗及び百貨店に3店舗をオープンしたほか、Web販売やSNSによる広告・宣伝活動などを実施しました。

その他事業のグループ会社

- エアモンテ(株)
- KOC(株)
- (株)フリヤマ技術研究所

※前連結会計年度まで「その他事業」のグループ会社としていました上海栗山貿易有限公司は、当連結会計年度から「産業資材事業」のグループ会社に変更しました。

ホテル事業



ホテルコンサルト

その他事業

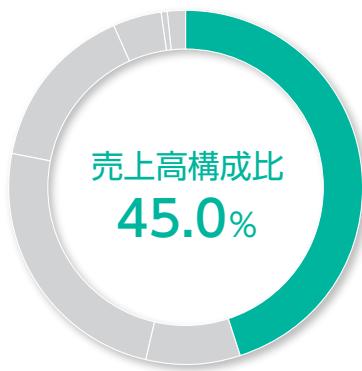
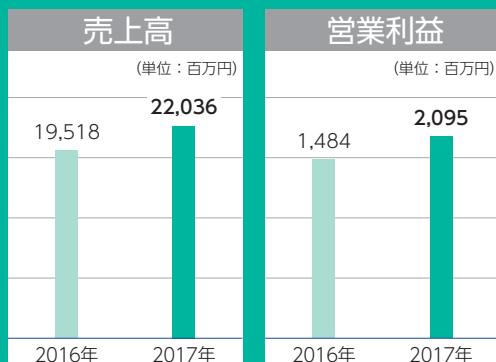


MONTURA TOKYO (外観)



MONTURA TOKYO (店内)

◆北米事業



事業のご紹介

産業用ゴム・樹脂・メタルホースの、製造・販売・物流基盤を確立し、業界ポジションも北米トップクラスにあります。製販一貫したサービスで、2,500社以上の販売代理店を通じ、主に建築土木、採掘、灌漑、食品、産業機械業界へ販売しております。

- 飲料用ホース
数本の飲料用ホースを束ね一体化した、付加価値の高い飲料搬送用ホースを提供しております。
- ガソリンドロップホース
過酷な使用条件下でも耐久性に優れた、ポリウレタン材質のガソリン注入用ホースを提供しております。
- メタルホース
排煙、排ガス、粉塵輸送など、過酷な耐久性を要求される用途に使用される金属フレキシブルホースを提供しております。
- 下水道洗浄用ホース
下水道管の洗浄に使用される高圧樹脂ホースを提供しております。
- 熱可塑性樹脂ホース
ゴム製ホースが使用されてきた過酷な使用環境下にも耐えうる新素材のホースを提供しております。

当期の概況

原油価格の上昇や原油の生産性向上を背景に、シェール・オイル&ガス市場が回復基調となったほか、農業・鉱業及び建設市場においても回復の兆しが見られました。また、飲料用ホースや高圧樹脂ホースの販売が堅調に推移しました。飲料用ホースや高圧樹脂ホースをはじめとした、成長が見込まれる製品群における生産設備の増強を進めております。また、ワンストップショッピング機能（一箇所で各種商品を調達可能）の一層の拡充を図るため、新商品の開発等に継続して取り組んでおります。その一環として、過酷な使用環境にも耐えうる高機能樹脂ホースをK-Toughブランドとして市場へ投入開始しております。



飲料用ホース

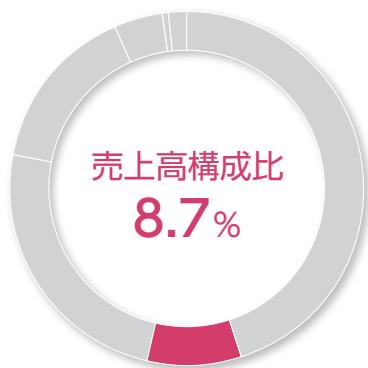
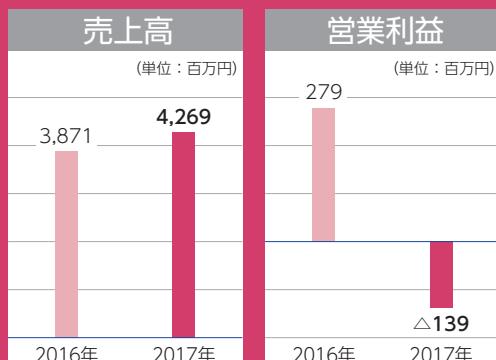


高機能樹脂ホース (K-Tough)



シェール・オイル&ガス用ホース

◆ 欧州事業



事業のご紹介

ゴム製レイフラットホース等を製造販売しており、業界ポジションも世界トップクラスにあります。

スペイン、アルゼンチン、アメリカに製販拠点を構え、世界各国の様々な業界に製品を販売しております。

- 産業用ホース
灌漑・農業・鉱山・水関連産業等の各業界へ、顧客ニーズに合った様々なホースを提供しております。
- 消防用ホース
火事や森林火災等向けに、消防用ホースを提供しております。
- 長尺、大口径ホース
鉱山、シェール・オイル&ガス業界にて遠距離送水に使用する、耐久性に優れた長尺、大口径のホースを提供しております。
- 消防用器具
消防用器具、ノズル等をホースとアッセンブリすることにより、付加価値の高い製品を提供しております。

当期の概況

当期は、オイル&ガス市場向けホースや消防用ホースの売上が堅調に推移しましたが、内部統制強化や品質管理基準の改定により、陳腐化在庫の廃棄損を計上した結果、営業損失となりました。また、当期は企業構造改革の年でもあり、オランダの持株会社2社を1社に統合し、また、スペインの事業会社3社を統合し、企業構造のスリム化を実現しました。2017年を通じて生産、販売、人事面等で多くの改革を実行し、今後は利益の改善が見込めるものと期待しております。また、2018年は、欧州や米国を中心に消防関連製品の継続的な成長が見込まれます。加えて、オイル&ガス市場向けホースの需要も見込めます。



米国向けダブルジャケット消防ホース



消防用ホース (ARMTEX)



消防用ノズル

トピックス

TOPICS 1

株主優待制度をはじめました

株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度をはじめました。

制度の概要

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単元）以上保有の株主様を対象としております。

株主優待の内容

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された株式数に応じてクオカードを贈呈しております。

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	当社オリジナルクオカード 1,000円
1,000株以上	当社オリジナルクオカード 3,000円

贈呈の時期

毎年3月下旬、当REPORT等の定時株主総会後書類に同封してお送りいたします。

クオカードについて

当社グループのエアモンテ株式会社で販売しておりますイタリアのスポーツブランド「MONTURA」のウェアをデザインしております。100株以上の株主様におかれましては、同封のパンフレットをご確認ください。



TOPICS 2

本社移転



社員の働き易さを向上させ事業の安定的な継続と拡大に必要な人材の確保に努めてまいります。

1969年から約50年近く本社を構えておりました大阪市淀川区西中島から、2018年1月、大阪市中央区城見の大阪ビジネスパークへ本社を移転いたしました。沢山のお祝いの言葉やお花を頂戴し、ステークホルダーの皆様方へ改めて感謝申し上げます。大阪城公園と大阪城を望む本社で心機一転して社員一同社業へ邁進いたします。また同時に、働く環境の整備と制度の改革により



TOPICS
3

海外展示会出展

2017年3月に、米国ラスベガスで“The International Fluid Power Exposition (IFPE)/ CONEXPO-CON/AGG”が開催されました。同展示会は、世界3大建設機械展示会に挙げられる大規模なものです。北米・欧州事業製品や尿素水識別センサーを展示いたしました。

また、2017年9月、中国、北京で開催されました第十七回国際消防設備技術交流展覧会 (China Fire 2017) に出展しました。TIPSA社製の消防ホースやノズル等を展示いたしました。



IFPE/ CONEXPO-CON/
AGG



China Fire 2017

TOPICS
4

建設トピックス

北大阪急行電鉄の南北線は、接続する地下鉄御堂筋線とともに大阪の各主要駅や主要路線と繋がりながら大阪を南北に走る大動脈を構成しています。その中程にある緑地公園駅で、ホームドアの設置工事に先立ってホームや階段を改修しています。ホームドアの転落防止機能と併せて、当社のオリジナル商品のホーム先端用緩衝材「スキマモール」とホーム先端タイル「ECOセンタン」により乗降客が列車とホームの間に足を踏み外さないように助けます。またスペースや施工時間が制限される鉄道駅での階段の改修を容易にする、プレキャスト

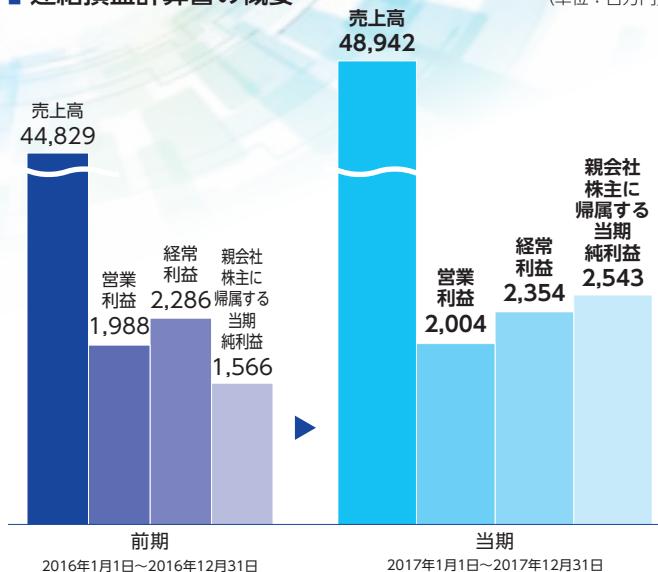


階段「レジストーン階段」や視覚障がい者用点字タイル「ブレイルタイル」も同時にご採用いただきました。最新のホームの構造の変化にも、長年にわたり駅舎関連製品の製造と施工で培ったノウハウでお客様のニーズにお応えして、より安全で新しい鉄道駅を作るお手伝いをしております。

連結財務諸表

連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

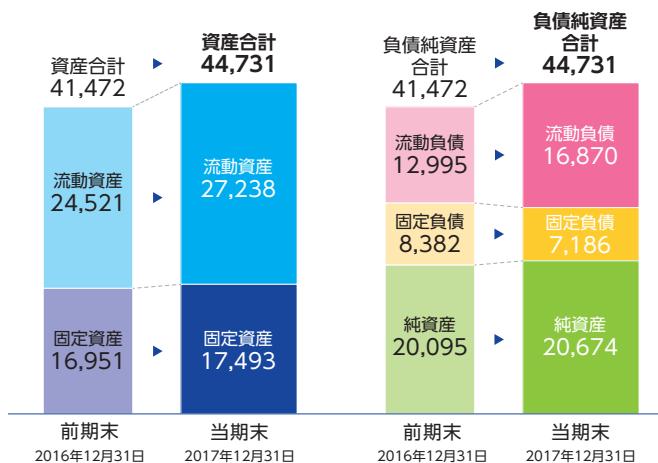


POINT

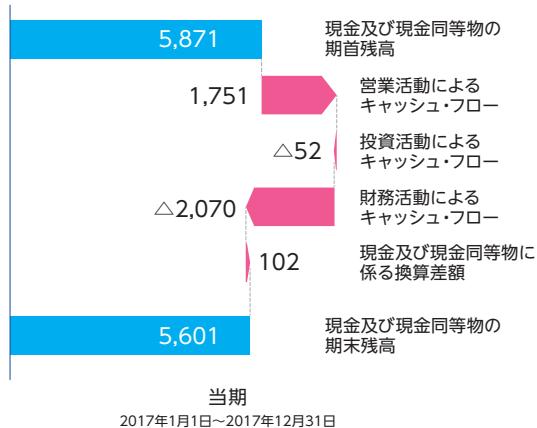
- ▶ 北米事業や産業資材事業等で売上高が増加しました。
- また、ホテル事業を行っていたクリヤマコンサルト株式会社の株式売却益を特別利益に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は増加しました。

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



株式情報 (2017年12月31日現在)

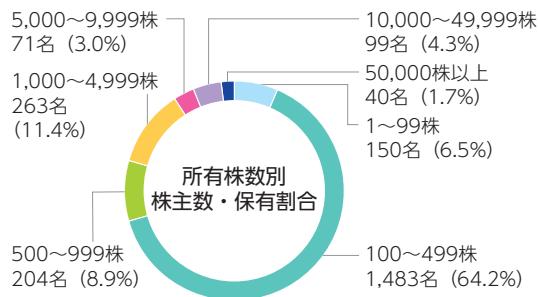
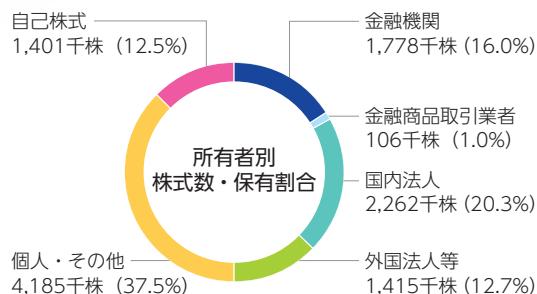
株式の状況

発行可能株式総数	36,800,000株
発行済株式の総数 (自己株式1,401,978株を除く)	9,748,122株
株主数	2,310名
大株主 (上位10名)	

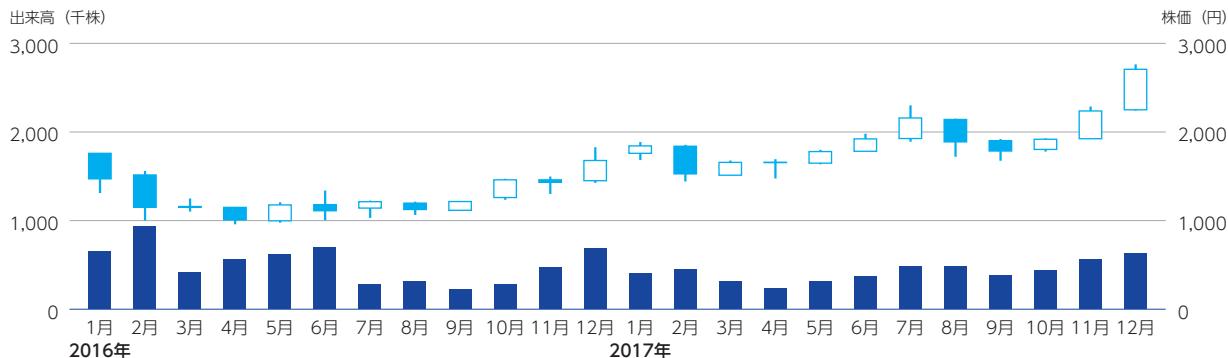
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
栗山博司	846	8.6
N O K 株 式 会 社	547	5.6
K B L E P B S . A . 1 0 7 7 0 4	446	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	436	4.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	291	2.9
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	245	2.5
ク リ ヤ マ ホ ー ル デ ィ ン グ ス 従 業 員 持 株 会	218	2.2
株 式 会 社 オ ー ハ シ テ ク ニ カ	200	2.0
ク リ エ イ ト 合 同 会 社	200	2.0
タイガースポリマー株式会社	193	1.9

- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 持株数については、千株未満を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率については小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。
 4. 自己株式については、上記大株主から除いております。

株式分布状況



株価および出来高の推移 (2016年1月~2017年12月、月足)



会社の概要 (2018年4月1日現在)

■ 会社概要

社名	クリヤマホールディングス株式会社
英文社名	KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION
資本金	7億8,371万6,600円
創業	1939年4月5日
設立	1940年12月21日
従業員数	9名(連結1,056名) ※2017年12月31日現在

■ ホームページのご案内

当社最新情報を下記ホームページに掲載しております。

 <http://www.kuriyama-holdings.com/>

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 …… 12月31日 剰余金の配当 … 期末 12月31日 中間 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  0120-094-777 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第2部
公告方法	電子公告の方法により行ないます。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。 (公告掲載URL http://www.kuriyama-holdings.com)
証券コード	3355

■ 役員

代表取締役CEO 社長執行役員	能勢 広宣
取締役 常務執行役員	Lester Kraska
取締役 常務執行役員	Thomas Hanyok
取締役 上席執行役員	小貫 成彦
取締役 上席執行役員	二見 毅
取締役	大村 暢彦
取締役 監査等委員	宮地 久人
取締役 監査等委員 (社外)	泉本 哲彌
取締役 監査等委員 (社外)	松本 邦雄
取締役 監査等委員 (社外)	七山 聖學
執行役員	西田 昌弘
執行役員	元木 雄三

2018年4月1日より、執行役員制度を導入いたします。

株主様の住所変更、配当金の受取方法の指定、単元未満株式の売却など株式に関するお手続きについて

証券口座を開設されているか、いないかでお手続き先が異なります。

▶ 証券口座を開設されている株主様

お取引されている証券会社等にお問い合わせください。

▶ 証券口座を開設されていない株主様

特別口座のお問い合わせは、左記特別口座の口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社・大阪証券代行部まで、お問い合わせください。なお、同行全国本支店においてもお取扱いしております。